

佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般県道借宿小諸線 軽井沢町 追分地区（県単道路改築事業）

- 当路線は近郊市町村から軽井沢へのアクセス道路であるとともに観光シーズンや（国）18号が混雑時は迂回路として利用され、地域の生活基盤を担う重要な路線。
- 交通量が多いものの幅員が狭く、急勾配・急カーブなため円滑な交通と安全の確保が求められていた。
- 平成21年度工事完了区間（御代田町境からL=600m）の続きとして、260m区間について道路拡幅および道路築造、歩道の整備に着手。

費用対効果(b/c) 4.4



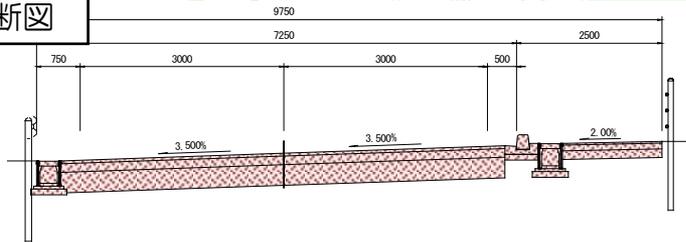
事業概要

事業延長 L=260m
幅員 W=6.5(9.75)m
事業期間 平成23年度～平成27年度
平成27年度 供用開始予定

概要図



標準横断面図



整備効果

本路線は事故多発区間であり、今回の事業区間と合わせて、国道18号及び信濃追分駅までの道路を整備することで高い整備効果を得られると思われる。



H24, H25
事故分布



※イメージ図

佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

一般県道借宿小諸線 軽井沢町 追分地区（県単道路改築事業）

【生活環境の向上】

- ①歩道が設置されたことによって軽井沢西部小学校へ通う児童等、歩行者の安全が確保される。
道路整備により、通行車両による騒音等の減少が図られる。
- ②道路の見通しがよくなり出会頭、正面衝突等の事故が減少する。



【産業面】

- ③軽井沢町で整備している借宿バイパスへ接続することで観光地へのアクセスの向上。
- ④農産物の搬出、運搬等の利便性が向上し農産物の振興が図られる。



【地域住民の声】

交通量が多くクラクションがよく鳴っていて、付近には別荘もあり散歩などに利用する人たちは、いつも危険にさらされています。歩行者との接触事故等も頻繁にあります。工事の完成を心待ちにしています。

